

自主学習グループ活動支援

様式1

No	1	中央公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	自主学習グループ学習見学会（※）	実10163354 報 — 実10364882 報 —		
2	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	自主学習グループ・クリーン作戦	実10163330 報 — 実10292065 報 —		
3	自主学習 グループ支援 事業	展示	自主学習グループ活動紹介（つどう まなぶ むすぶ）	—		

様式2-1

【事業の概要】

No	1	中央公民館		経費	—		
事業名	自主学習グループ活動支援			講座区分	自主学習グループ活動支援		
講座名	自主学習グループ学習見学会						
ねらい	① 会員を増やすための支援を行うことで、自主学習グループの維持・拡充を図る ② 学習成果の発表・地域還元への支援 ③ 自主学習グループの広報活動支援 ④ 利用団体の連携と交流の促進						
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☒ その他（広報まえばし）			
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了				講師名	
	定員	参加者					
1	7月1日(月)～ 7月31日(水)		中央公民館を利用する自主学習グループの学習時間を公開し、グループの活動に興味がある人に、自由に見学や体験をしてもらう。 参加グループ：48団体、見学参加者：60名、入会希望者：22名			—	—
						—	
	—	60					
2	3月1日(土)～ 3月31日(月)		中央公民館を利用する自主学習グループの学習時間を公開し、グループの活動に興味がある人に、自由に見学や体験をしてもらう。			—	—
						—	

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	門戸を開くことによりこたえている
地域のニーズにこたえているか	◎	活動に興味がある人へのニーズにこたえている
企画・事前準備は十分であったか	○	概ねできた
学習者の満足度はどうであったか	○	見学会への参加者にアンケートを実施・回収しているが、おおむね満足の回答
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	グループの入会者がいることにより地域還元・波及につながる
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	広報まえばしや館報で大々的掲載し周知できた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

42

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	年度内で7月と翌年3月の2回実施しているが、年々学習見学会へ参加する団体も増えていることから継続して実施していく必要がある事業だと感じている。	
改善点	夜間（18:00-22:00）を利用する学習団体への見学者がほとんどいない状況であることから周知の方法を工夫して参加者を増やしていきたい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	学習団体の活性化につながる事業であることから、今後も継続して見学会を実施していきたい。	

留意事項等	
-------	--



見学会の様子（茶道）



見学会の様子（フォークダンス）

様式1

No	2	上川淵公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	自主学習 グループ支援 事業	講義	命を守るための安全運転講座 ー安心してグループ活動に参加するためにー (※)	実10202680 報10333388		
2	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	上川淵公民館グループ活動見学・体験月間	実10202505 報10378284		

様式2-1

【事業の概要】

No	2	上川淵公民館			経費	—			
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援事業			
講座名	命を守るための安全運転講座－安心してグループ活動に参加するために－								
ねらい	① 運転の基本的なマナーを学び、交通事故を未然に防ぐ機会とする。 ② 歩行者や他の車両の安全を確保し、社会全体の安全に寄与することを学ぶ。 ③ 公民館利用グループ間の情報交換の促進の場とする。								
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者		
周知	☐ 館報	☐ H P	☒ チラシ	☒ その他（					）
回	月日		学習主題・内容				講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了					講師名		
	定員	参加者							
1	11月18日(月)		「命を守るための安全運転講座」 ①交通安全教育車体験 （運転適性検査、夜間視力検査、動体視力検査） ②飲酒ゴーグル体験 ③反射神経テスト ④シニアカー乗車体験⑤DVD教則上映				—	—	
	10:00	12:00					前橋東交通安全協会 前橋東警察署		
	15	20							

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	交通安全への働きかけを行い、高齢者が抱える社会的課題を考える機会とすることができた
地域のニーズにこたえているか	◎	交通安全への働きかけを行い、高齢者が抱える社会的課題を考える機会とすることができた
企画・事前準備は十分であったか	○	役員や参加団体からの希望で実施を決定し、事前準備を行った
学習者の満足度はどうであったか	○	自信の能力を知る機会となり、安全運転への意識が高まったと考える
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	自信の能力を知る機会となり、安全運転への意識が高まったと考える
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	さまざまな団体へ声掛けを行った結果、多くの方にご参加いただいた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

43

事業の総合評価		※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	B	講話ではなく体験を主に行ったが、シニアカーに抵抗があった方も、安全性の高さや運転の容易さを体験し、免許返納後の生活について考えるきっかけになったようであった。安全運転の大切さを体験しながら学ぶ本講座を通して、今後のグループ活動への積極的な参加に繋がっていくと期待する。
改善点		グループ連絡協議会加入団体へ募集を行ったが、申し込み開始当初は参加希望者が少なかったため、様々な団体へ声掛けを行った結果、募集定員より多くの方にご参加いただいた。毎年参加者集めに苦戦しているため、連協の様々な会議等で協力いただけるように、働きかけていきたい。

次年度の事業継続の評価		※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	維持	安心して公民館活動へ参加できるような取り組み（講座）を行い、各団体がより良い活動を行えるよう今後も検討していきたい。

留意事項等	
-------	--

	
前橋東警察署交通課による講話	交通安全教育車体験

様式1

No	3	下川淵公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	自主学習 グループ支援 事業	研修	尺八と三線の音色に癒やされる 夏の音楽鑑賞会	実10234788 報10237875		
2	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	フラダンス講座 (※)	実10403625 報10456157		
3	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	健康マージャン講座	実10425902 報10453879		
4	自主学習 グループ支援 事業	研修	春のウキウキピアノコンサート	実10427076 報10447925		

様式2-1

【事業の概要】

No	3	下川淵公民館			経費	18,000円		
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援事業		
講座名	フラダンス講座							
ねらい	① 新規自主グループとして定期的に活動することを目指し、自主グループ連協の会員増につなげる こと。 ② 対象を幅広く設定し、世代を超えた地域の人々の交流を促すこと。 ③ フラダンスを通じて心身ともにリフレッシュし、参加者の日常生活に活力をもたらすこと。							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☒ 高齢者	
周知	☒ 館報	☐ HP	☒ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	2月13日(木)		・フラダンスの基本の動き ・「ナニ・パイホロ」(1番)の振り付け練習 ・ストレッチ			4,500円	—	
	19:00	20:30				新井 伸江		
	20	10						
2	2月27日(木)		・「ナニ・パイホロ」(1番)の振り付け復習 ・「ナニ・パイホロ」(2番)の振り付け練習 ・ストレッチ			4,500円	—	
	19:00	20:30				新井 伸江		
	20	10						
3	3月13日(木)		・「ナニ・パイホロ」(1番・2番)の振り付け復習 ・「ナニ・パイホロ」(1番・2番)を通して練習 ・ストレッチ			4,500円	—	
	19:00	20:30				新井 伸江		
	20	8						
4	3月27日(木)		・「ナニ・パイホロ」(1番・2番)の振り付け復習 ・「ナニ・パイホロ」(3番)の振り付け練習 ・「ナニ・パイホロ」(全体)を通して練習 ・ストレッチ			4,500円	—	
	19:00	20:30				新井 伸江		
	20	9						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	地域内での仲間づくりの機会を創出することができた
地域のニーズにこたえているか	○	仕事をしていて、昼間の講座に参加できない方のニーズに応えられたと考えている
企画・事前準備は十分であったか	○	講師と打ち合わせをして方針を確認できた他、参加者それぞれの名札を作成して、交流する際の足がかりにしてもらうことができた
学習者の満足度はどうであったか	◎	アンケート結果から、全体を通して参加者に満足してもらえたことがわかった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	最終日に参加者の意向確認の場を設け、毎月2回のペースで自主グループとして活動することが決まった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	館報への掲載とチラシの作成で地域の方を集めることができた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

43

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	1回目の講座の際は、フラダンスの慣れない動きに戸惑う参加者も多く、全4回通して参加者に満足してもらえるか心配だったが、講座の回数を重ねる中で、参加者が動きに慣れ、振り付けを習得していく様子がよくわかった。4回目の講座で1曲を通して踊りきった時には、どの参加者の表情も達成感にあふれていて、連続講座を通して成長する喜びを参加者のみんなに感じていただけたのだと、主催者として嬉しく思った。更に、参加者の多数により講座終了後も自主グループとして活動することとなり、地域活性化の一助とすることができたことも嬉しく思う。	
改善点	募集の段階で、想定よりも、応募者数が伸び悩んだ。時期が2月開催だったことや時間が夜だったことで、寒さにより外出を敬遠する方がいたのではないかとこの意見があった。大人数でスタートしたい講座については、講座の内容だけでなく、開催時期や時間帯を決める際に、外出しやすいタイミングを選んで企画することも大切なのだと改めて感じた。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	今回の講座は、自主グループ立ち上げを念頭に置いて開催したが、幸いなことに、期待通り自主グループとして活動することが決まった。下川淵公民館の自主グループ参加者は、減少傾向にあるため、引き続きグループ立ち上げを念頭に置いた講座を開催し、地域の方々が公民館に集い、交流の輪を広げられるように支援していきたい。	

留意事項等	
-------	--



講座1回目(2/13)の様子



講座4回目(3/27)の様子

様式1

No	4	芳賀公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	新グループ創設のための 「初心者のための写真講座」 (※) 第1回写真を楽しむ～写真の見方と撮影の基本～	実10221577 報10327546		
2	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	新グループ創設のための 「初心者のための写真講座」 (※) 第2回失敗をしないために～簡単なテクニック～	実10221577 報10327546		
3	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	新グループ創設のための 「初心者のための写真講座」 (※) 第3回上手下手はない～撮影して批評会～	実10221577 報10327546		
4	自主学習 グループ支援 事業	実習	芳賀公民館グループ見学・体験月間	実10173180 報10262619		

様式2-1

【事業の概要】

No	4	芳賀公民館			経費	13,500円		
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援		
講座名	新グループ創設のための「初心者のための写真講座」							
ねらい	① 新たなグループの育成、発展を図る。 ② 地域住民に自主学習グループ活動を知ってもらう機会とし、地域の文化の向上を図る。							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ H P	☒ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	10月1日(火)		第1回 写真を楽しむ ～写真の見方と撮影の基本～	4,500円	—			
	10:00	11:30		山田 守				
	20	20						
2	10月15日(火)		第2回 失敗をしないために ～簡単なテクニック～	4,500円	—			
	10:00	11:30		山田 守				
	20	13						
3	10月29日(火)		第3回 上手下手はない ～撮影して批評会～	4,500円	—			
	10:00	11:30		山田 守				
	20	15						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	高齢になっても楽しむことができる趣味として現代に向いている
地域のニーズにこたえているか	○	芳賀地区は高齢者が多いため、地域に合っていると思われる
企画・事前準備は十分であったか	○	グループ連協役員会にて検討し、いくつかの候補を挙げ選択した
学習者の満足度はどうであったか	○	アンケート結果も満足度95%と高く、写真を楽しんでいる様子が伺えた
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	新グループとして創設、グループ連協にも加入し、今後活動する
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	△	周知内容が不十分であった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	3回の写真講座終了後に写真を続けたいという希望者が8人残り、「芳賀写真クラブ」という名称で創設することができたことは良かった。また、芳賀公民館グループ連絡協議会に加入し、いっしょに活動をする事になり、グループ連絡協議会の活性化が図れたことは良かったと思う。	
改善点	チラシや館報の内容に、一般的なカメラ以外にスマホのカメラ使用での参加も可能であることを明記しなかったことで問合せが寄せられたため、想定される質問については明記するように気をつけたい。	

次年度の事業継続の評価	廃止	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	新グループ創設支援として、次年度は別の内容の講座を開催し、また新たなグループを立ち上げる予定であるため、1年ごとの企画となる。	

留意事項等	新グループ創設のため、講座終了後にグループ化に向けた話し合いが必要となる。また、グループが軌道に乗るまでの支援が必要。
-------	---



第3回 和室にて埴輪と花の撮影の様子



第3回 フラダンス撮影の様子

様式1

No	5	桂萱公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	自主学習 グループ支援 事業	講義	「熱中症対策と夏の栄養摂取」 ～知識を増やして暑い夏を乗り切ろう～（※）	実10191379 報10269427		
2	自主学習 グループ支援 事業	講義	「フランス文化とショコラのお話」（中止） ～「おいしい」と「楽しい」を仲間とともに～	実10372324 報10423999 （中止）		
3	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	男性向け「家庭料理教室」	実10373704 報10455623		
4	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	「サークル見学・体験月間①」	実10191379 報10269427		
5	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	「サークル見学・体験月間②」	実10373855 報10458211		

様式2-1

【事業の概要】

No	5	桂萱公民館			経費	6,000円		
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ活動支援事業		
講座名	「熱中症対策と夏の栄養摂取」～知識を増やして暑い夏を乗り切ろう～							
ねらい	① 季節柄関心が高まる熱中症について、仕組みや対処法を学ぶことで不安要素を減らし、学習活動を継続しやすくする。 ② 普段の学習活動では交わることがない他グループと交流を深めることにより、グループ活動の活性化を図る。							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者	
周知	☐ 館報	☐ HP	☒ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容				講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了					講師名	
	定員	参加者						
1	7月8日(月)		健康面から学習活動継続の一助とするため、 「熱中症対策」と「夏の栄養摂取」について学ぶ。				—	—
	10:00	11:30					大塚製薬(株) 福永 伸太郎	
	50	20						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	ちょうど暑くなる時期に開催できた
地域のニーズにこたえているか	○	受講希望者の要請に応えた
企画・事前準備は十分であったか	○	出前講座の活用
学習者の満足度はどうであったか	◎	アンケートより「とてもよかった」「よかった」の合計が100%
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	「熱中症」というキーワードが会員同士の話題になっていた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	△	参加者が予想よりも少なかった
※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価 ◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める		平均点 42

事業の総合評価	B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	関心が高く、熱心に聞く受講者が多かった。耳慣れない言葉が多く出てきたが、健康維持には栄養摂取も重要ということが分かった。よい話だったので、もう少し多くの人に受講してもらえるとよかったと思う。	
改善点	講座の参加者を増やすため、周知方法について検討が必要。学習グループをまとめる役員と事前相談を密に、また館内掲示や代表者を通じた参加依頼を分かりやすく、そして関連する市役所から提供できる情報を提示するなど周辺情報を活用しながら工夫して取り組む。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	グループ活動をより楽しむための講座を開催することにより、引き続き活動の継続を支援していく。	

留意事項等	講師提供の熱中症関係資料のほか、健康増進課より提供を受けた「元気に夏を乗りきる食事のポイント」（リーフレット）や栄養士おすすめの「夏野菜を使ったレシピ」を配布。
-------	--

	
講師による説明の様子	熱中症の症状とは

様式1

No	6	東公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	自主学習 グループ支援 事業	実習	サークル見学・体験月間	実10166609 報10302599		
2	自主学習 グループ支援 事業	講義	「防犯講座～身近な防犯知識～」 (※)	実10315439 報10383734		

様式2-1

【事業の概要】

No	6	東公民館			経費	—		
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援事業		
講座名	「防犯講座～身近な防犯知識～」							
ねらい	① 自主学習グループ会員の増加と活動意欲の向上 ② 自主学習活動の地域へ向けた広報の強化 ③ 自主連協会員相互の情報交換の活発化							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☒ 高齢者	
周知	☒ 館報	☐ H P	☐ チラシ	☒ その他（団体宛通知）				
回	月日		学習主題・内容				講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了					講師名	
	定員	参加者						
1	1月20日(月)		振込詐欺や窃盗犯の発生状況と手口、不審者などの現状を学び、自分に合った被害防止対策を考える。				—	—
	14:00	15:00					前橋市 共生社会推進課 園田 真也	
	33	41						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	社会的な関心は高く、時流に沿ったものと思われる
地域のニーズにこたえているか	○	闇バイト等、新手の犯罪が世間を騒がしている状況であり、タイムリーな話題と思われるため
企画・事前準備は十分であったか	○	企画、講師との調整、内容の確認等、余裕をもって準備をすることができた
学習者の満足度はどうであったか	○	アンケートによる満足度も概ね好評だった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	防犯について普段できる取り組みを学んだため実践していただけたと思う
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	△	自主グループ連絡協議会向けの研修であったため、各団体向け通知のみ
※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価 ◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める		平均点 38

事業の総合評価	C	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	今回は「防犯講座～身近な防犯知識～」と題し研修会を行った。全国や県の犯罪の発生状況や、最近発生件数が増えている犯罪状況のほか、最近ニュース等でよく耳にする特殊詐欺等について話があり、普段の生活で気をつけるべき点を確認でき、大変有意義であった。また、身近な防犯知識ということで、地域の防犯活動としてすぐにできる普段心がけることについて話があり、多くの方が実践されるとありがたいと感じた。	
改善点	本研修会に、他課の事業説明の時間が追加されたため、研修会終了後にその時間を設けたが、研修会後半が急ぎ足での進行となってしまう、講師の話が短縮されてしまった部分もあったため、研修会前半に説明時間を設けた方がよかった。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	自主学习グループ会員の活動意欲の向上や、会員相互の情報交換の活発化のためにも本事業を継続したい。	

留意事項等	
-------	--

	
新春研修会（防犯講座）	新春研修会（防犯講座）

様式1

No	7	元総社公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	自主学習 グループ支援 事業	講義	自然災害から身を守る (※)	実10358947 報10401477		

様式2-1

【事業の概要】

No	7	元総社公民館			経費	—		
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援事業		
講座名	自然災害から身を守る							
ねらい	① 公民館を利用し活動をしている自主グループリーダー相互の学びあいと交流を図る。 ② 自主学習グループ会員は公民館に足を運ぶことが多いことから、公民館内での不測の事態が生じたときにすぐに対応が出来るよう「いざというとき」のために知識や技術を学ぶ。 ③ 研修を通して学んだことを地域に還元できるような体制づくりの推進を図る。							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者	
周知	☐ 館報	☐ H P	☐ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容				講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了					講師名	
	定員	参加者						
1	1月23日(木)		自然災害から身を守る 1 自分の命は自分で守る 2 地域の安全は地域で守る 3 今備えなければならない災害について 4 前橋市の災害対策 5 最後に皆さんに伝えたいこと				—	—
	14:00	15:10					防災危機管理課職員	
	33	31						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	地域の課題に十分応えていると判断したため
地域のニーズにこたえているか	◎	地域のニーズに十分答えていると判断したため
企画・事前準備は十分であったか	○	概ね十分であると思ったため
学習者の満足度はどうであったか	◎	実施後のアンケートから満足度が高かったと判断したため
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	学習成果を地域に還元・波及で来たと判断したため
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	概ね十分であると思ったため

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

47

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	講義中心の研修だったのでもう少し具体的に参加出来るようなものであればより理解につながったと思う。	
改善点	自習的要素があるものをやったほうが良かったと思う。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	自主学習グループのリーダーの皆さんは地域のリーダーでもあることから、学習した情報を広く地域の皆さんに広めてもらいたいと思うため。	

留意事項その他	
---------	--



備えあれば憂いなし



災害対策のポイントを学ぶ

様式1

No	8	総社公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	自主学習 グループ支援 事業	研修	研修旅行	—		
2	自主学習 グループ支援 事業	展示	文化祭発表	—		
3	自主学習 グループ支援 事業	実習	全館清掃（※）	—		

様式2-1

【事業の概要】

No	8	総社公民館			経費	—		
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援事業		
講座名	全館清掃							
ねらい	① グループ内の交流を図ると共に、地域に貢献する活動を行う。							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☒ グループ	
周知	☐ 館報	☐ H P	☐ チラシ	☒ その他（各グループに通知文）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	11月30日(土)		総社公民館 館内清掃			—	—	
	8:00	9:00				—		
		45						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	地域活動に貢献している
地域のニーズにこたえているか	○	公民館の適切な使用に合致する
企画・事前準備は十分であったか	○	物品準備など、早い段階で行った
学習者の満足度はどうであったか	○	実施者に、満足感が見られた
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	項目に該当しない
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	△	項目に該当しない
※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価 ◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める		平均点 38

事業の総合評価	C	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	地域貢献としての活動を実施できた。	
改善点	時間も規模も適当と思われる。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	利用団体の交流を図ると同時に地域貢献への意識が高まるため。	

留意事項等	
-------	--

写真①	写真②
説明	説明

様式1

No	9	南橋公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	自主学習 グループ支援 事業	講義	救急車が来るまでの対応について学ぶ講習会 (※)	—		

様式2-1

【事業の概要】

No	9	南橋公民館		経費		—	
事業名	自主学習グループ活動支援			講座区分		自主学習グループ支援事業	
講座名	救急車が来るまでの対応について学ぶ講習会						
ねらい	① 自主学習グループに所属している会員の高齢化が進んだため、会員の誰もがいざという時の初期対応やA E Dが使用できるスキルを身につける。						
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者
周知	☐ 館報	☐ H P	☐ チラシ	■ その他 ()			
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了				講師名	
	定員	参加者					
1	11月18日(月)		1. 救急車が来るまでのやるべき行動についてビデオで予習 2. 講師の指導を受けながら、実際に人形を使って1人ずつ呼吸の確認 3. 周囲の人へのAEDの準備、救急車出動要請などの指示 4. 胸骨圧迫を交代しながらの実習 5. AEDの使用法や注意点など指導を交えての実習 6. 今回学んだことを通しで復習			—	—
	9:30	10:30				消防局警防課職員 (まえばし出前講座利用)	
	—	26					

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	高齢化に伴い救急初期対応は重要になっている
地域のニーズにこたえているか	○	地域全体の高齢化も深刻であり、グループ活動のほか実生活の中でも実践可能な内容となっている
企画・事前準備は十分であったか	○	昨年度から企画、実施している講座なので、概ね予定どおり準備はできた
学習者の満足度はどうであったか	◎	自主学習グループからの要望であり、すぐに実践できるような講座内容で満足していた
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	自主学習グループだけでなく地域住民も対象としたほうが効果はあったと思う
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	所属団体からメンバーへ声掛けを行った結果、参加可能な方には参加いただけた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

40

事業の総合評価		※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	B 自主学習グループの構成メンバーの高齢化に伴い、救急初期対応は重要になっている。自主学習グループもそのことを認識しており、すぐに実践できるように定期的な講座の実施を要望していた。昨年度も実施したことで実践したこと身についていくような講習になったと思う。今回の講習が自主学習グループのメンバーを通じて地域に広がることを期待している。	
改善点	基本的な対処法は踏まえつつも、生活の中で様々なケースで実践できるように各回テーマを作って実施することで改善が図られると思う。また、参加者をもう少し増やしたい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	基本的に救急救命の初期対応を習慣化させることで身につけてもらうことが目標なので、暫くの間継続していきたい。	

留意事項等 その他	
--------------	--

	
消防職員による初期対応の指導	参加者による胸骨圧迫の実習

様式1

No	10	清里公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	健康マージャン体験教室（※）	実10367498 報10447083		
2	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	テーブルマナー講座	—		
3	自主学習 グループ支援 事業	実習	全館清掃	—		

様式2-1

【事業の概要】

No	10	清里公民館			経費	9,000円		
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援		
講座名	健康マージャン体験教室							
ねらい	① 会員を増やすための支援を行うことで、自主学習グループの維持・拡充を図る。1卓に4人必要 ことから多くの人に体験してもらい、1人での入会が困難となっていることを解消する。 ② 自主学習グループの活動内容を広く地域住民に知ってもらう機会とする。 ③ 参加者に、新たな趣味や生きがいを見つけてもらう。							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☒ 高齢者	
周知	☒ 館報	☐ HP	☒ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容				講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了					講師名	
	定員	参加者						
1	3月16日(日)		主に初心者を対象とし、ルールを覚えてもらい健康マージャンを始めるきっかけと楽しさを知ってもらう。				9,000円	9,000円
	13:30	16:30					清里健康マージャン 愛好会 代表 吉岡 賢治	
	10	7						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	高齢者の外出の機会となった
地域のニーズにこたえているか	◎	清里健康マージャン愛好会が新規の会員を募集しているため
企画・事前準備は十分であったか	○	講師が事前に会場の確認、マニュアルを作成し、当日の体験教室に参加し易いように日曜開催とした
学習者の満足度はどうであったか	○	アンケートで全員がとてもよかった、よかったと回答しているため
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	講座の後、清里健康マージャン愛好会に出席している参加者がいたため
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	館報及び回覧で周知

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

42

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	健康マージャンのルールを説明するのに、スクリーンや牌を使用し覚えやすい方法で教えていたと思う。また、上がっている人もいたのでルールを覚えていたのではないかなと思う。 初心者向けの健康マージャン体験教室であり、ルールを覚えらい清里健康マージャン体験教室に加入していただくという	
改善点	実施した時期が3月16日だったため、次回は延期した場合などを考慮しもっと早い時期に開催するべきであった。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	学習グループを維持するため、体験していただくことにより新規加入し易くすることが必要なため。 高齢者の外出する機会をつくるため。	

その留意事項等	初心者が多いため、初心者でも分かるように説明することが必要。
---------	--------------------------------



スクリーンでの説明



健康マージャンの実践

様式1

No	11	永明公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	自主学習 グループ支援 事業	講義	えいめいミュージックサロンⅡ（※）	実10156624 報10195136		
2	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	サークル見学・体験月間	—		

様式2-1

【事業の概要】

No	11	永明公民館			経費	—		
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援事業		
講座名	えいめいミュージックサロンⅡ							
ねらい	① 永明公民館利用グループ間の交流促進 ② 公民館活動への理解 ③ 生きがいづくり・仲間づくりの機運醸成							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ H P	☒ チラシ	☒ その他（永明公民館連協だより）				
回	月日		学習主題・内容				講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了					講師名	
	定員	参加者						
1	6月16日(日)		アマチュア音楽グループ 「ロス・アモーレス」コンサート				—	—
	14:00	15:30					音楽グループ 「ロス・アモーレス」	
	80	168						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	少子高齢化時代における余暇の利用を提案
地域のニーズにこたえているか	○	自主学習グループの成果発表
企画・事前準備は十分であったか	○	連協役員により円滑な運営
学習者の満足度はどうであったか	○	好評の声
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	自主学習グループ賛助出演があり
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	◎	定員を上回る参加希望者

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

43

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	好評であった昨年度に続いての開催。永明公民館自主学習グループ「永明ウクレレ教室」「ウクレレ金曜クラブ」の出演もあり、学習成果の還元という点でも効果があった。	
改善点	施設上の問題として、駐車場が足りず、不満の声があった。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	今後の実施については、連協役員と協議し検討したい。	

留意事項等 その他	
--------------	--

		写真②
当日の様子		説明

様式1

No	12	城南公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	サークル見学・体験月間	実10169536 報10316663		
2	自主学習 グループ支援 事業	実習	カルトナージュ連続講座（※）	実10251829 報10322943		
3	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	健康ステップアップセミナー プチエクササイズでココロとからだのリラックス	実10337357 報10399067		

様式2-1

【事業の概要】

No	12	城南公民館			経費	12,000円		
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援事業		
講座名	カルトナージュ連続講座							
ねらい	① 地域住民の交流機会のきっかけを作り、仲間づくりの一助とする。 ② 地域の学習拠点として自主学習グループの立ち上げを目指す。 ③ 文化祭など地域の行事で成果を発表して地域の活性化に繋げる。							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	10月10日(木)		ティッシュケース制作① ・フランスの文化に触れる ・厚紙を組み立てたボックス作り ・布を貼り付ける			6,000円	800円	
	10:00	12:00				カルトナージュ工房 アトリエC's 代表 山田 千里		
	10	10						
2	10月24日(木)		ティッシュケース制作② ・落とし蓋の作成 ・作品を完成させる ・参加者の作品を鑑賞する			6,000円		
	10:00	12:00				カルトナージュ工房 アトリエC's 代表 山田 千里		
	10	9						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	全員が公民館講座に参加したのが初めてで、交流の機会を作ることができたため
地域のニーズにこたえているか	○	ものづくりに興味がある人が多い地域柄なので、その要望にこたえられた。
企画・事前準備は十分であったか	◎	自主学習グループ化を前提に講師選定をしたため、講座後の移行もスムーズだった。
学習者の満足度はどうであったか	◎	講座後のアンケートにて、ほとんどの受講者が満足度100%と回答していたため。
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	講座後にも学習を続けたい受講者（5名）が集い、学習グループを結成したため
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	◎	館報やチラシ回覧を通じて、定員を超える申込みがあったため

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 47

事業の総合評価		※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	自主学習グループ化を前提に講師選定をし、連続講座を企画しチラシにもその旨を記載して周知を行なったため、講座終了後はスムーズに自主学習グループに移行することができた。人数が少なくなると学習グループとして成立しなくなってしまうため、グループ側の希望があれば、今後会員募集のフォローも行なっていきたい。	
改善点	講座の目標の一つに文化祭への出品を設定していたが、完成よりも文化祭出品の締切が早く、1回目の講座終了後に出品申込みをしてもらった。結局欠席や早退で時間内に完成できず、出品ができなかった人が何名かいた。今後の改善として、完成後に出品希望の有無を聞けるようなスケジュールに設定するべきだった。	

次年度の事業継続の評価		維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	長年活動している学習グループは、人数の減少等の課題を抱えているところが多くなってきており、会員増に繋がる取り組みは今後も継続が必要だと思われるため。また、地域住民がコミュニティを形成するためには新たな自主学習グループが必要だと考えるため。		

留意事項等 その他	・材料代として実費を徴収
--------------	--------------

	
ティッシュケース制作②の様子	完成したカルトナージュ作品

様式1

No	13	大胡公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	講座名		管理番号	補
1	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	大人のための防犯講座（※）		実10347229 報10401395	

様式2-1

【事業の概要】

No	13	大胡公民館			経費	6,000円		
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援事業		
講座名	大人のための防犯講座							
ねらい	① 自主学習グループの代表者及び会員の交流の機会として学習の場を設け、グループ活動の充実と活性化を図る。 ② 防犯意識を高め、地域の安全性の向上を図る。							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者	
周知	☐ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☒ その他（開催通知郵送）				
回	月日		学習主題・内容				講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了					講師名	
	定員	参加者						
1	2月4日(火)		・ 特殊詐欺（振込詐欺、オレオレ詐欺）に対する防止について（講義） ・ 防犯対策について（講義） ・ 実践				—	—
	14:00	15:00					群馬県防犯設備協会	
	38	30						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	新たな手口でやまない特殊詐欺の防犯、危機対策について学ぶことができた
地域のニーズにこたえているか	○	地域の高齢化が進むなかで、幅広く防犯対策等の継続が必要となる
企画・事前準備は十分であったか	○	概ね十分であった
学習者の満足度はどうであったか	○	いくつかの事例を交え、実践をしながら学べたことで満足度も高かった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	受講者が各自主学習グループのリーダー等のため、今後、会員をとおして地域への普及が期待できる
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	令和7年度の公民館利用申請説明会に併せて実施し、周知を徹底した

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	自主学習グループ会員の日頃の生活に役立つ防犯や、活動時の救急などをテーマに講座を例年開催しているが、今年は近年手口が巧妙になり、自分は大丈夫と思っていても被害に遭ってしまうケースが少なくない特殊詐欺をテーマに講座を開催した。定期的な講座開催により、改めて防犯認識を高められたと思う。	
改善点	高齢化で会員減少などに悩む団体も生じているため、グループの活性化も図れるような機会も検討していきたい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	自主学習グループのリーダー及び会員が、他のグループと交流を持つ機会は少ないため、団体同士の意見交換・情報提供の場としても必要と考えられる。	

留意事項等	
-------	--



特殊詐欺、防犯対策について（講義）



参加者と講師（詐欺役）で電話のやりとり（実践）

様式1

No	14	宮城公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補	
1	自主学習 グループ支援 事業	講義	音楽物語～メリー・ポピンズ～	実10248669 報10322798		
2	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	花育教室 多肉植物の寄せ植え体験 ～バレンタインアレンジ～ (※)	実10362551 報10401710		

様式2-1

【事業の概要】

No	14	宮城公民館	経費	4,500円			
事業名	自主学習グループ活動支援		講座区分	自主学習グループ活動支援事業			
講座名	花育教室 多肉植物の寄せ植え体験～バレンタインアレンジ～						
ねらい	① 幅広い世代に関心の高い講座を提供することで、新たな公民館利用者の掘り起こしを図る。 ② 自主学習グループへ新たな学びの機会を提供し、活動の活性化を図る。 ③ 扱いやすい多肉植物をきっかけに植物に触れる喜びや効果を感じ、家庭や地域での継続した学びに発展させる。						
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者
周知	☐ 館報	☐ HP	☒ チラシ	☒ その他			(回覧文書)
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額
	開始 定員	終了 参加者				講師名	
	2月4日(火)		花育教室 多肉植物の寄せ植え体験 ～バレンタインアレンジ～ 多肉植物の寄せ植え実技、育て方についての講習			4,500円	1,000円
1	10:00	11:30				原島 春菜	
	20	17					

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	新規利用者の掘り起こしや参加者同士の交流ができた
地域のニーズにこたえているか	○	参加者も多く、今後も植物に関わる講座開催の希望もあった
企画・事前準備は十分であったか	◎	準備品も多かったが講師との事前の連絡により当日はスムーズに進行できた
学習者の満足度はどうであったか	◎	色々な種類の多肉植物から自分好みのものを選べたことで高い満足度となった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	自宅でも取り組める内容であるため、継続して学びたいという意見もあった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	回覧を利用したことで、新規利用者の参加もあった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める

平均点 43

事業の総合評価	B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	地域の方の目に留まり気軽に参加できるようバレンタインをテーマにした寄せ植え講座を企画した。講師から事前に提供していただいた寄せ植えの試作写真を募集チラシに掲載できたため、寄せ植えの完成イメージが伝わり、より多くの参加に繋がったと感じた。講座では参加者同士、和気あいあい談笑しながら楽しく寄せ植えを作ることができた。育て方の疑問についても講師から分かりやすく説明があり満足度の高い講座となった。	
改善点	多肉植物は比較的扱いやすい植物であるため、働く世代から年配の方まで幅広い世代に興味を持って参加いただけることを期待したが、開催日程を平日の午前中にしたため、今回は60代以降の方の参加にとどまった。講師の都合もあるが対象者が参加しやすい日程を設定することが求められる。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	公民館の学習グループは会員の高齢化等で減少傾向にあるため、あらゆる世代に興味関心をもっていたらいいような内容を研究し、グループの活動支援に繋がる講座を開催したい。	

留意事項その他	
---------	--

	
寄せ植えをしている様子	完成した多肉植物の寄せ植え

様式1

No	15	粕川公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
		講座区分	学習方法	講座名	管理番号	補
1		自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	大人の防災 イ・ロ・ハ (※)	実10311343 報10398755	

様式2-1

【事業の概要】

No	15	粕川公民館		経費	—		
事業名	自主学習グループ活動支援			講座区分	自主学習グループ支援事業		
講座名	おとなの防災 イ・ロ・ハ						
ねらい	① 大きな自然災害が毎年発生する現代において、自分の身を守る行動の重要性を理解する。 ② 正しい知識を持つことが自然災害への備えとして基本であることを学ぶ。 ③ 定期的な学習や講習が、防災意識を根付かせるためには必要不可欠であると認識する。						
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者
周知	☒ 館報	☐ H P	☒ チラシ	☒ その他 （自主学習グループへ通知）			
回	月 日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了				講師名	
	定員	参加者					
1	1月31日(金)		講義形式での解説（前半）、起震車体験（後半） ・近年の災害発生状況等の解説 ・指定避難所の確認 ・起震車による大地震体験			—	—
	14:00	15:00				市防災危機管理課職員	
	30	31					

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	近年の自然災害発生状況、高齢者一人暮らし世帯の現状
地域のニーズにこたえているか	○	防災への関心は比較的高いと感じる
企画・事前準備は十分であったか	○	市出前講座を活用し担当課と連絡調整を図った
学習者の満足度はどうであったか	○	大地震体験や指定避難所等の確認を経て自分事として認識できた
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	家族間で防災について考えるきっかけを提供できた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	△	自主学習グループへの通知と館報での周知に止まった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 38

事業の総合評価	C	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	柏川地区における警戒箇所、指定避難所の確認など防災に関する基本情報について学習できたことで、改めて防災への意識を高めることができた。 起震車で大地震の揺れを実際に体験することは、強く記憶に残るとともに揺れに対する心構えに繋がる。身近な人と防災について考える機会を提供できたと考える。	
改善点	防災に関する学習は、継続して行うことが肝心である。また、多くの地域住民に参加してもらうことも同様である。講座内容、周知方法や参加対象について再度検討し、有益な講座運営に取り組む。	

次年度の事業継続の評価	見直し改善	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	・多くの市民に参加してもらうため、周知方法や対象範囲を検討する必要がある。	

留意事項等 その他	
--------------	--



パワーポイントを使用した解説の様子



起震車による大地震体験の様子

様式1

No	16	富士見公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	講座名		管理番号	補
1	自主学習 グループ支援 事業	実習	富士見公民館グループ見学・体験月間（※）		実10167396 報 —	

様式2-1

【事業の概要】

No	16	富士見公民館			経費	—		
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援事業		
講座名	自主学習グループ活動支援							
ねらい	① 自主学習グループの活性化と参加者同士の交流を図る。							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☐ H P	☒ チラシ	☐ その他（				）
回	月日		学習主題・内容				講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了					講師名	
	定員	参加者						
1	9月1日(日)～ 9月30日(月)		自主学習グループ見学 体験月間 公民館報で活動内容をPRし、富士見地区内の住民や公民館活動及び生涯学習に興味・関心を持つ機会とする。 参加グループ：33団体				—	—
	8:30	17:15					—	
2	3月～		YOUTUBE動画配信				—	—
							—	
3	通年		ロビー展示（17団体）				—	—
							—	

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	市民要望に対応している
地域のニーズにこたえているか	○	市民要望に対応している
企画・事前準備は十分であったか	○	問題はありませんでした
学習者の満足度はどうであったか	○	問題はありませんでした
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	恒例で実施しており、周知出来ました
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	行えた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価 ◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める	平均点	40
---	-----	----

事業の総合評価	B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	地域の方へは恒例により、周知されてきた。	
改善点	特になし	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	地域の交流の機会として、情報提供が定着しつつあるため。	

その留意事項等	
---------	--

写真①	写真②
説明	説明